

千葉科学大学大学院看護学研究科 学位論文審査基準(課題研究)

項目	審査基準
研究主題について	<p>高度看護実践への貢献性がある。</p> <p>新規性、独自性がある。</p> <p>今後の研究発展の可能性が認められる。</p>

論文構成について	論文題目 論文題目に、研究内容を反映したkey wordsが含まれている。
	意義ある研究であることが伝わる表現である。
研究目的	論文題目に即した文献検討に基づき、研究背景が整理され、研究課題が明確に示されている。
	看護学の問題・課題の全体像を明確にし、研究の位置づけが示されている。
	研究目的が明確に示されている。
	研究の意義について明示されている。
研究方法	研究目的に応じた研究デザイン・研究方法(対象の選定、データ収集方法、分析方法)が選択されている。
	研究方法が明確にかつ具体的に記述されている。
	信頼性・妥当性、確実性・真実性を保証する方法が示されている。
研究結果	研究方法に基づいて、必要なデータが収集されている。
	研究目的に沿って、分析結果が記述されている。
	図・表等はわかりやすく提示されている。
考察	目的に沿って論理的に展開されている。
	結果に基づき、解釈に矛盾や飛躍がない
	文献が適切に活用されている。
	看護実践の変革・改善や看護学への貢献性が示唆されている。
研究の限界と課題	研究の限界と課題が適切に述べられている。
結論	得られた結果、考察から結論が導かれている。
	簡潔明瞭に記述されている。
倫理的配慮	本研究科倫理委員会の承認を得たことが記載されている。
	研究過程の全てにおいて、倫理的配慮がなされている。
論文全体	研究主題・目的・方法から結論に至るまで首尾一貫した論理構成である。
	明解、一貫性、論理性のある論旨が展開されている。

要旨	<p>研究目的、方法、結果、考察、結論が記述されている。</p> <p>簡潔、明瞭に記述され、一貫性がある。</p>
----	--

口頭試問	<p>研究内容をわかりやすく説明できる。</p> <p>質問に応じた内容を自分の言葉で簡潔、明瞭に説明できる。</p>
------	---

項目	審査基準
研究主題について	<p>看護実践への貢献性がある。</p> <p>新規性、独自性がある。</p> <p>今後の研究発展の可能性が認められる。</p>

論文構成について	論文題目 論文題目に、研究内容を反映したkey wordsが含まれている。
	意義ある研究であることが伝わる表現である。
研究目的	論文題目に即した文献検討に基づき、研究背景が整理され、研究課題が明確に示されている。
	看護学の問題・課題の全体像を明確にし、研究の位置づけが示されている。
	研究目的が明確に示されている。
	研究の意義について明示されている。
研究方法	研究目的に応じた研究デザイン・研究方法(対象の選定、データ収集方法、分析方法)が選択されている。
	研究方法が明確にかつ具体的に記述されている。
	信頼性・妥当性、確実性・真実性を保証する方法が示されている。
研究結果	研究方法に基づいて、必要なデータが収集されている。
	研究目的に沿って、分析結果が記述されている。
	図・表等はわかりやすく提示されている。
考察	目的に沿って論理的に展開されている。
	結果に基づき、解釈に矛盾や飛躍がない
	文献が適切に活用されている。
	看護実践の変革・改善や看護学への貢献性が示唆されている。
研究の限界と課題	研究の限界と課題が適切に述べられている。
結論	得られた結果、考察から結論が導かれている。
	簡潔明瞭に記述されている。
倫理的配慮	本研究科倫理委員会の承認を得たことが記載されている。
	研究過程の全てにおいて、倫理的配慮がなされている。
論文全体	研究主題・目的・方法から結論に至るまで首尾一貫した論理構成である。
	明解、一貫性、論理性のある論旨が展開されている。

要旨	<p>研究目的、方法、結果、考察、結論が記述されている。</p> <p>簡潔、明瞭に記述され、一貫性がある。</p>
----	--

口頭試問	<p>研究内容をわかりやすく説明できる。</p> <p>質問に応じた内容を自分の言葉で簡潔、明瞭に説明できる。</p>
------	---

千葉科学大学大学院看護学研究科 学位論文審査基準(特別研究)

項目	審査基準
研究主題について	<p>看護学、看護実践への貢献性がある。</p> <p>新規性、独自性がある。</p> <p>今後の研究発展の可能性が認められる。</p>

論文構成について	論文題目 論文題目に、研究内容を反映したkey wordsが含まれている。
	意義ある研究であることが伝わる表現である。
研究目的	論文題目に即した文献検討に基づき、研究背景が整理され、研究課題が明確に示されている。
	看護学の問題・課題の全体像を明確にし、研究の位置づけが示されている。
	研究目的が明確に示されている。
	研究の意義について明示されている。
研究方法	研究目的に応じた研究デザイン・研究方法(対象の選定、データ収集方法、分析方法)が選択されている。
	研究方法が明確にかつ具体的に記述されている。
	信頼性・妥当性、確実性・真実性を保証する方法が示されている。
研究結果	研究方法に基づいて、必要なデータが収集されている。
	研究目的に沿って、分析結果が記述されている。
	図・表等はわかりやすく提示されている。
考察	目的に沿って論理的に展開されている。
	結果に基づき、解釈に矛盾や飛躍がない
	文献が適切に活用されている。
	看護実践の変革・改善や看護学への貢献性が示唆されている。
研究の限界と課題	研究の限界と課題が適切に述べられている。
結論	得られた結果、考察から結論が導かれている。
	簡潔明瞭に記述されている。
倫理的配慮	本研究科倫理委員会の承認を得たことが記載されている。
	研究過程の全てにおいて、倫理的配慮がなされている。
論文全体	研究主題・目的・方法から結論に至るまで首尾一貫した論理構成である。
	明解、一貫性、論理性のある論旨が展開されている。

要旨	<p>研究目的、方法、結果、考察、結論が記述されている。</p> <p>簡潔、明瞭に記述され、一貫性がある。</p>
----	--

口頭試問	<p>研究内容をわかりやすく説明できる。</p> <p>質問に応じた内容を自分の言葉で簡潔、明瞭に説明できる。</p>
------	---